

令和4年度徳島県警察本部当初予算の概要

1 令和4年度警察本部当初予算(警察費)について

令和4年度の警察本部当初予算(警察費)総額は、220億9,310万6千円で、県一般会計歳出予算額(5,239億8,000万円)の4.2%を占めており、前年度通年予算と比較すると2.5%の増額となっています。

当初予算の区分、予算額及び摘要は、次の表のとおりです。

(単位：千円)

区 分	予 算 額	摘 要
公 安 委 員 会 費	12,612	① 公安委員報酬 (5,986) ② 公安委員会の運営及び風俗営業関係等許可事務に要する経費 (6,626)
警 察 本 部 費	17,707,348	① 給与費 (16,701,358) ② 警察本部、警察署の運営及び維持管理に要する経費 (1,005,990)
警 察 施 設 費	994,759	① 交番・駐在所等整備事業費 (65,422) ② 警察署整備事業費 (775,135) ③ 警察職員宿舍整備事業費 (154,202)
運 転 免 許 費	732,129	① 運転免許試験及び行政処分事務費 (732,129)
恩 給 及 び 退 職 年 金 費	10,689	① 恩給費 (10,689) 恩給受給者に対する恩給等に要する経費
警 察 活 動 費	2,635,569	① 「未知への挑戦」実装費 (5,000) ② 警察装備費 (438,614) 警察装備の整備及び運営に要する経費 ③ 一般警察活動費 (492,918) 地域活動(交番、駐在所等)等に要する経費 ④ 刑事警察費 (324,806) 犯罪捜査及び犯罪防止活動等に要する経費 ⑤ 交通指導取締費 (228,102) 交通事件・事故捜査及び交通指導取締りに要する経費 ⑥ 交通安全施設整備事業費 (1,134,652) ア 国補対象事業費 (345,638) イ 県単独事業費 (397,163) ウ 維持補修費 (391,851) ⑦ 道路交通情報提供費 (11,477)
計	22,093,106	

2 令和4年度警察本部主要事業について

令和4年度警察本部当初予算(警察費)における主要な事業は、次の表のとおりです。
(単位：千円)

事業名	予算額	事業内容
【身近な犯罪の抑止】 ・ICT等を活用した犯罪の総合抑止対策事業 ・サイバー空間の脅威に対する組織基盤強化事業	10,692 4,716	県民向け「防犯アプリ」の導入及び犯罪情報マップ(HP)のリニューアルを実施し、犯罪の総合抑止対策を推進します。 誰もが安心して利用できるサイバー空間確保に向け、対処能力向上のための組織基盤の強化を図ります。
【重要犯罪等の徹底検挙】 ・犯罪情報分析システム導入事業	14,660	犯人特定のための「地理的プロファイリング」や「犯罪情報の総合分析」等が可能な新たなシステムを導入します。
【交通死亡事故の抑止】 ・交通安全施設整備事業 ・交通事故総合抑止対策事業 1 交通情報総合分析管理システム導入 2 高齢運転者の交通事故抑止対策	709,418 21,237 (8,535) (12,702)	安全で円滑な交通環境を確保するため、信号機や道路標識をはじめとする「交通安全施設」の計画的な整備や維持管理を実施します。 交通事故分析システムを、「交通規制場所」や「交通安全施設」の管理機能を追加したシステムに更新するほか、改正道交法の円滑な施行のため、新たに導入される「運転技能検査」への対応や「認知機能検査用タブレット」の導入による受検者負担軽減など、交通事故抑止に向けた総合抑止対策を推進します。
【組織基盤の強化】 ・警察施設長寿命化計画事業 ・「徳島県警察・地域警察再編計画」推進事業 ・新防災センター(徳島中央警察署)整備事業	567,893 5,646 314,983	「防犯・防災拠点」である警察施設の継続的運用のため、警察施設の長寿命化工事・修繕を中長期視点で計画的に実施します。 藍住町役場敷地内に、行政のワンストップ対応を目的とした県下最大級の「大型交番」を整備します。(令和4年度設計) 治安・防災の拠点としての機能を発揮するため、「新防災センター徳島中央警察署」庁舎の適切な管理・運営を実施します。